

## 飯田自然エネルギー大学 第4期受講生 募集要項（追加分）

一般社団法人飯田自然エネルギー大学は、住民や地域事業者が主体となる再生可能エネルギー事業（以下、再エネ事業）、新電力など地域のエネルギーマネジメントを担う人材の育成を目指し、飯田自然エネルギー大学の第4期生を募集します。

(1) 募集締切 2022年9月25日（日）※当日必着

(2) 定員 11人

(3) 募集条件

- ① 太陽光発電や小水力発電、バイオマス事業など、地域主導型の再エネ事業で起業する、または地域新電力など地域のエネルギーマネジメントに携わる意欲があること。
- ② 原則として、すべてのカリキュラムに出席すること。
- ③ 出題される課題レポート等に取り組み、提出すること。
- ④ 電子メールでの連絡、インターネットを利用した資料閲覧、オンライン授業対応ができること。
- ⑤ オンライン授業に対応可能なパソコン、通信環境を有すること。

※居住地、経歴、年齢は不問

※授業は主会場（長野県飯田市）での対面開催、オンライン講義を組み合わせて実施

※通信環境の目安は「飯田自然エネルギー大学 学校案内」3-(8)オンライン授業の注意事項に記載

(4) 選考方法 応募用紙、小論文2点を提出。審査委員による選考を行う。

(5) 応募方法 応募用紙、小論文2点を電子メール、郵送、持参で提出。

① 応募用紙 ※所定の用紙に必要事項を記入して写真を添付

② 小論文・Ⅰ（文字数1500～3000字以内）

再生可能エネルギーのうち、太陽光については近年、その増加ペースが明らかに停滞していました。FIT価格の低下で収益が低下したほか、立地上の限界に達していると指摘されることも多くなっています。背景には、メガソーラーを展開する広大な平地の枯渇、傾斜地など住民への危険、あるいは景観悪化等を理由とした自治体規制の強まりなどの事情があります。他方、再エネを求める企業のニーズはますます強まる一方です。また、東京都のように条例化によって新築住宅・建築物への太陽光発電義務付けを導入しようとする自治体もあります。太陽光発電をめぐるこうした現状と将来展望、政策課題について、あなたの見解(肯定／反論どちらでも)を展開して下さい。

※図表は使用可。ただし文字数には含まない

③ 小論文・Ⅱ テーマ「将来への抱負」（800字以内）

修了後の展望等を記述してください。

(6) 選考結果 10月4日（火）以降、すべての応募者に通知。

(7) 入学式・第1回授業

入学式および第1回授業は、下記の内容で開催します。

■第1回 2022年10月22日(土)-23日(日)

10/22(土) PM 入学式

諸富徹(京都大学大学院地球環境学堂/経済学研究科 教授)

講義「持続可能な地域/まちづくりと再生可能エネルギー事業

～地域付加価値の創出と地域経済循環に向けて～」

10/23(日) AM 事業者講師による講義①

菅沼利和(おひさま進歩エネルギー(株)代表取締役)

講義「地域に根差した再生可能エネルギー事業の意義」

海部岳裕(飯田まちづくり電力(株)取締役)

講義「自然エネルギーで地域を元気に」

■第1回授業課題レポート

課題テキスト①:『入門 地域付加価値創造分析』(日本評論社) 著者:諸富徹

課題テキスト②:『「エネルギー自治」で地域再生—飯田モデルに学ぶ—』(岩波ブックレット)

著者:諸富徹

課題テキストを読んだ上で、再エネ事業を通じて地域を再生していくには何が必要か、自らの経験、構想も交えて論じて下さい。

文字数:1500~3000字

提出締切:10/19(水)午前9時

■主会場 おひさま進歩エネルギー株式会社

(長野県飯田市鼎下茶屋 2242-2/飯田商工会議所鼎支所 1階)

(8) 応募書類の提出先

〒395-0802 長野県飯田市鼎下茶屋 2242-2

一般社団法人飯田自然エネルギー大学事務局 宛て

電話 0265-56-3713/FAX0265-56-3712

メール [support@enedai.jp](mailto:support@enedai.jp)

担当 伊藤、菅沼

※飯田自然エネルギー大学の実施内容、受講料については「飯田自然エネルギー大学のご案内」をご確認ください。